

# 令和3年度海の次世代モビリティの利活用に関する実証実験 及びスマートアイランド推進実証調査について

---

令和3年2月19日  
総合政策局海洋政策課

## 実験の目的

沿岸・離島地域が抱える課題解決のため、海の次世代モビリティの新たな技術・知見を活用し、現地に実装するために必要な検証すべき事項について、実証的な実験を行う。

## 実験の概要

**実験内容:** 海の次世代モビリティの我が国沿岸・離島地域における新たな利活用法を提案し実証するもの

- ※ 海の次世代モビリティとは、ASV、AUV、ROVなど、海上または海中を無人で浮遊し移動するものを指します。
- ※ 新たな利活用の促進を目的としているため、海の次世代モビリティの新たな利活用で結果を公表できるものを対象とします。すでに実用化されている利活用法は対象外です。
- ※ 新たな技術の適用に限らず、既存の技術を新たな用途に応用するものも対象になります。

**実施体制:** 海の次世代モビリティの製造・運用者、結果を評価するユーザー(自治体等)が共同で応募・実施

- ※ 地方自治体が共同実施者として参画することは必須ではありません。ただし、応募に当たっては、実験海域の使用に係る自治体を含む関係者の了解を得ることが条件となります。

**助成額:** 1件あたり500万円程度(上限)

- ※ 実験に要する経費について、上限額まで助成します。
- ※ ただし、共同実施者の人件費や利益等は助成対象経費の対象外となります。
- ※ また、機材を調達する場合はレンタル又はリースを原則とします。
- ※ 計上できる経費の詳細は応募要領でご案内します。

**採用件数:** 複数件を採用予定

### スケジュール(予定)

公募期間: 6月～7月

採択公表: 8月

実証実施: 8月～翌2月中

結果取りまとめ: ～2月下旬

結果報告会: 3月頃

※ 詳細は調整中のため、変更がありうる旨、あらかじめご了承ください。

※ 本協議会の参加者に限らず、一般公募を予定しています。

## スマートアイランド推進実証調査(継続)

### 【目的】

- 本土に比して厳しい生活環境下であり様々な地域課題を抱える離島とICTなどの新技術等を有する民間企業・団体とが協力し、新技術等の実装に向けた実証を行うとともに、得られた知見の全国の離島への普及を図ることで、離島地域の課題解決を目指す。

### 【内容】

- 離島地域と民間企業等とが一体となり、新技術・知見の地域への導入を実証するための調査を行う。
- 実証調査の確実なフォローと調査で得られた知見の全国の離島への的確な横展開を図る。
- 離島地域と民間企業等が一堂に会するプラットフォームを設け、効果的なマッチングの機会を創出する。



再生可能エネルギーによる  
発電のイメージ



物資輸送と遠隔医療のイメージ

## 感染症対策関連

離島地域における新型コロナウイルス等の感染症拡大リスクを低減、リモート化による医療体制の構築等を行うため、ICTやドローン等の新しい技術の導入を推進するために必要な実証調査を行う。

## アイランダー(継続)

### 【目的】

- 全国の離島地域の関係者が都心に集まり、交流促進や定住促進のため、離島の魅力の情報発信を行う機会を提供し、都市住民側のニーズを把握

### 【内容】

- ① 交流事業や観光情報の発信
- ② 移住情報の発信(求人情報、空屋、借家情報等)
- ③ 離島の伝統文化の体験、特産品の紹介等